

⑤ 交通需要が見込まれる道路の整備

将来的に市内外において整備されていく各種施設等とのアクセスの確保、あるいは生産性、利便性、安全性の確保への需要に対応する道路を新規整備。または既存道路の改良等を積極的に推進。

a. 多目的ドームへのアクセス 道路の確保【図A】

▽平成9年度に供用を開始する大館地区多目的ドーム(仮称)に至る新規の市道を県道大館十和田湖線(樹海ライン)から北へ直角交差する形で整備。これについては、外環状線を構成する環状東線(仮称)の一部として位置づける。

b. 県営大館第二工業団地・二井田工業団地へのアクセス道路の確保【図B】

▽県営大館第二工業団地及び二井田工業団地へのアクセス道路について、既存道路の改良等を実施。

●東台・山館線道路改良事業の推進(平成8~11年度)
●池内・二井田線道路改良事業

c. 大館能代空港へのアクセス道路の確保【図C】

●二井田野球場線道路改良事業の推進(平成7~10年度)
●大館能代空港へのアクセス道路の確保【図C】

▽市内から大館能代空港へのアクセス道路として池内・二井田線と二井田野球場線(国道285号)を整備。

▽直接接続できる形での大館西道路の南IC以南における整備を推進。

d. 秋田県北部老人福祉総合エリアへのアクセス道路の確保【図D】

▽平成11年に一部供用開始する秋田県北部老人福祉総合エリアへのアクセス強化を目的として、市道扇田十二所線及び道目木味噌内線を経て比内町味噌内に至るルートの整備を推進。

e. 花岡市街地へのアクセス強化【図E】

▽新たな土地利用により再生を目指す花岡地区へのアクセス強化を目的として、大館西道路北ICから都市計画道路アセ石線と結び形で新規に市道を整備。

▽中心市街地と花岡地区を結んでいる県道釈迦内花岡白沢線について、小坂鉄道の軌道敷跡を活用して拡幅整備。

f. 樹海ラインの再整備【図F】

▽県道大館十和田湖線は、東北縦貫自動車道小坂ICと大館西道路の北ICとを連絡するルート

の推進(平成7~11年度)

であるとともに、中心市街地と十和田湖方面を結ぶ主要な観光ルートでもあることから、美しい景観が楽しめる道路沿いにレストハウスを設置するなど、観光資源の開発及び整備。

g. 大館東バイパスの確保【図G】
▽中心市街地東側において、環状東線(仮称)の機能の代替性を持たせ、外環状道路と内環状道路を南北に連絡するルートの強化を目的に、柄沢餌釣線(有浦東台線を、国道7号と大館西道路の交差部あたりに向けて北へ延伸させること)によって大館東バイパス(仮称)の形成を図る。

⑥ 農道・林道の整備

▽農林業の生産性の向上や一般道を補完し、災害時における代替性を確保することを目的として農道や林道を整備し、これによるネットワークの形成を図る。

⑦ 大館市をめぐる総合的な道路体系の整備

▽高規格広域幹線道路、国道、県道、市道及び農道・林道を総合的に整備していくことにより、市民生活あるいは産業面での利便性、効率性、安全性を備えた道路連携の形成を積極的に推進。

次回は、「行政関連及びコミュニティ施設整備計画」を掲載する予定です。

